

<会社沿革> 有限会社三宝金型製作所

- 1969年 現在の所在地に設立（代表取締役社長 中村正男）
木型製作・砂型鑄造・金型加工の一貫体制
- 1978年 Vプロセス鑄造設備の導入および建屋改築
鑄造設備の改良
- 1980年 Vプロセス鑄造設備の本格稼働
『リブ構造薄肉化によるハイサイクル成形』金型の販売
- 1990年 『仕切り板可動による2層成形』金型の開発
- 1993年 『インサート成形法』金型の開発販売
『原粒成形法』金型の開発販売
- 1996年 『鮮魚輸送容器・縦穴排水穴一水封構造』金型の開発販売
- 1997年 『エキスパンション成形法』金型の研究
- 2001年 『スキン層をもつ成形体』金型の研究
- 2002年 『ハイサイクル・省エネ成形』金型の開発販売
- 2003年 『冷却配管内臓』金型の研究
- 2005年 代表取締役社長 中村裕一 就任
- 2013年 平成24年度ものづくり中小・小規模事業者試作開発等支援補助に
係わる補助事業の活用（2014年終了）
研究テーマ『表皮低比重層をもつスチロール成形を可能とする省エ
ネ成形用特殊金型の開発』

2016年 『三宝マルチメリット金型』のご提案を開始

- 2017年 「平成28年度第2回おおさかエコテック」認定
研究テーマ『原料削減が可能な「発泡ビーズ成形金型」』
ゴールド エコテック_認定番号 G003-H28-003-00_
・大阪 ATC グリーンエコプラザの常設展示



- 2018年 近畿経済産業局主催「関西ものづくり新撰2018」選定
技術の名称『発泡スチロール成形用特殊金型』
・ものづくりビジネスセンター大阪(MOBIO)展示
・大阪企業家ミュージアム展示



- 2022年 「大阪ものづくり優良企業賞2022(匠)」
及び「知的財産部門賞(匠)」の2部門を受賞



- 2025年 公益財団法人 市村清新技術財団主催による
第113回(令和6年度第1次)新技術開発助成の完了認定書を授与
新技術開発の題名「発泡スチロール製フロート用特殊成形金型の開発」